

Gospel news 06 天授ヶ岡教会

from Tenjugaoka Church ゴスペルだより

「生ける水」のライフ・ライン

イエス・キリスト

近年、大きな災害にみまわれることが増えてきたように思えます。そんな時、大切さを痛感するのがライフ・ラインです。電気・ガス・水道など、普段は当たり前のように使っているものが、突如途絶えてしまう。途端に普段の生活ができなくなります。不便さを感じるだけではなく、長引けば命に危険を招くこともあります。ライフ・ラインとはまさに生活の綱であり、命の綱です。

ライフ・ラインの確保は必要です。電気・ガス・水道だけではなく、私たちの魂のライフ・ラインです。地上にあるものは朽ちたり、尽きたりします。私たちの体もです。そして魂のライフ・ラインが確保できなければ、命も尽きてしまいます。「わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになります。」と、

イエス・キリストは私たちに語りかけます。イエス・キリストが私たちの魂のライフ・ライン。私たちはイエス・キリストを「私の救い主」と信じる時、神様とつながり、尽きることのない命と愛が、神様からイエス・キリストを通して、私たちに流れ込み、私たちから流れ出るのはです。

近年、災害のみならず、心を痛める事件や争いごとが増えてきたように思えます。それは朽ちたり尽きたりするものに心奪われ、限りある大切なものを分かち合うのではなく、奪い合っているからではないでしょうか。まずは、私たちそれぞれの内に、尽きることなく流れ出す「生ける水」が必要です。イエス・キリストがそのライフ・ライン、命の綱なのです。



あかし「神様がいつもそばに」

私は目の上にあざがあり、幼少の頃、非常な劣等感を持っていました、友達から意地悪をされたこともありました。幸い教会学校に通っていて、サムエルさん(聖書の中の登場人物)の話を読み、「顔かたちや身のたけを見てはならない。…わたしが見るところは異なる。人は外の顔かたちを見、主は心を見る」という聖書の言葉で、劣等感を持つ必要はないんだ！神様だけは私の心を見て理解して下さいなんだ！という確信と喜びを持つようになり、もっと神様を知りたくて聖書を読んだり、聖書通信講座を何度も受けました。



中1のクリスマスに「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さいました。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである」という聖書の言葉を通して、私を罪から救うために神様が大切なイエス様を贈って下さったのだと知り、神様の大きな愛に感謝し、「主よ信じます。私に永遠の命を与えて下さい」と何度も祈りました。

以前は劣等感の塊で負けず嫌いで頑固な性格でしたが、神様に出会って劣等感がなくなり、「イエス様だったら、こんな時どうされるだろうか」と考えて、人に優しく接することができるようになりました。19歳で洗礼を受けてから今日に至るまで、様々な節目がありましたが、「わたしは必ずあなたと共にいる」と言われる神様の導きを実感しています。(天授ヶ岡教会 女性)



集会案内

日曜日 教会学校 9:30~10:00
礼拝 10:30~11:30
水曜日 祈禱会 14:00~15:30

※聖書の学びや相談受付もいたします。
※エホバの証人(ものみの塔)や統一協会でお困りの方はご連絡下さい。

日本イエス・キリスト教団

天授ヶ岡教会

牧師 内田 純

〒616-8021

京都市右京区花園天授ヶ岡町 10-28

TEL&FAX 075-463-3209

E-mail tenjuch-1948@oasis.ocn.ne.jp

Website <http://church.tenjugaoka.ed.jp>

京福電鉄嵐山線「妙心寺駅」から徒歩5分。

お隣は天授ヶ岡幼稚園。駐車場がありませんので公共交通機関をご利用下さい。

